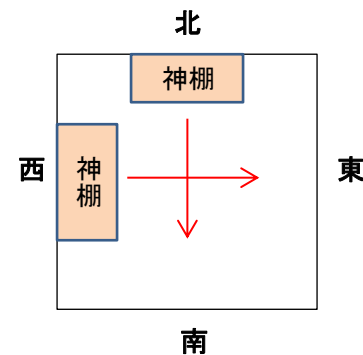


○お神札は、どんなところにおまつりすればよいですか？

- ・目線より高い場所（棚の上など）が理想ですが、無理のない範囲でおまつりしましょう。（神棚が無い場合は、白い紙や布を敷いておまつりしましょう）
- ・方向は南向きか東向きが理想ですが、一番身近で清潔な場所がよいでしょう。



簡易神棚を使って棚の上に

ご自宅に合った
まつり方を
探しましょう。
最近、モダンな
神棚もあります。

○何を供えたらよいですか？

- ・基本的には、「米・塩・水」です。可能であれば「酒」も供えするとよいでしょう。
- ・お供えする器は、どんな形でも構いません。陶器だけでなく、ガラス製や木製のものでよいですが、神棚専用にするのが望ましいでしょう。
- ・お供えは毎日が理想ですが、月の初めやご自身で決めた日など、出来る範囲で行いましょう。
- ・お正月や特別な日には、餅や季節の物なども、お供えするとよいでしょう。



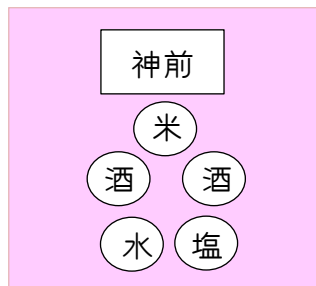
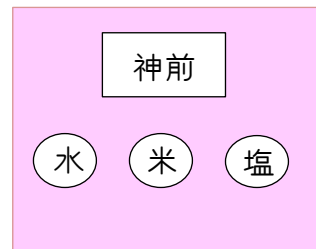
半紙を敷いて



簡易神棚を使って
壁(柱)に

○お神札は、毎年新しく受けましょう。

- ・神様は清らかにまつられることで、「おちから」が高まります。
- ・お正月を迎えるにあたり、神棚をきれいにお掃除して神社からお受けした新しいお神札をおまつりし、来るべき新しい年も、家内が無事平安であるようにお祈りしましょう。
- ・今までおまつりしていた古いお神札は、一年間無事に過ごせたことを感謝して、神社にお礼参りをして納めます。
- （神札・お守りをお返しする時期や方法は、神社によって異なります。ご確認ください）



○親族・家族に不幸があった場合、お神札を受けることは出来ますか？

親族・家族の死を悼むのは大事な心の問題ですが、五十日（仏教等は四十九日）が過ぎれば「忌明け」となり、お神札をお受けすることができます。

かみよ
神代から 令和に受け継ぐ 日本の心

大阪府神社庁 <https://www.osaka-jinjacho.jp>

